

(公社)富山県高等学校安全振興会

会報

第7号(平成30年12月18日)

〈発行者〉

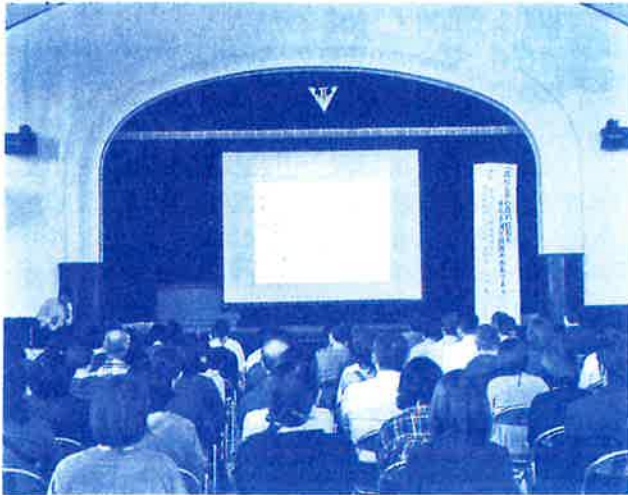
公益社団法人 富山県高等学校安全振興会

〒930-0018 富山市千歳町1-5-1

富山県教育記念館

TEL 076-432-2810

FAX 076-432-1501



「PTA研修会・講演会」
(魚津高等学校)



「心の健康セミナー」
(南砺平高等学校)

ご挨拶

公益社団法人 富山県高等学校安全振興会

理事長 山崎 均



本年6月より当会理事長に就任いたしました。当会の適切で的確な運営に努めて参りますので今後ともよろしくお願いたします。

さて、当会は富山県下の高校生および特別支援学校生が健康で安全な学校生活を送れるようお願い、共済団体として平成4年に設立されました。学校管理下における事故・疾病にかかる医療費等の共済事業を通し、本人並びに家族の精神的・経済的負担の軽減を図り、学校における教育活動の円滑な展開に寄与することを目的としています。

昨年度の給付事業では501件、総額18,416千

円の給付を実施しました。部活動中の事故やけがが最も多く、件数も年々増加傾向にあります。本年度も給付事業に加え、生徒の安全・健康および健全育成に係る助成事業と広報活動を行い事故の未然防止に一層留意して参ります。

また、安全普及事業では当会が設置済みのAEDの整備を継続実施すると同時に次期更新に備えて参ります。

これからも会員の皆様と一緒に生徒たちの健全な成長に少しでも寄与出来るよう、役員並びに職員一同努めて参りますので、相変わらずのご理解とご協力をお願いいたします。

平成30年度定時社員総会を開催

平成30年度定時社員総会は、平成30年6月5日、富山電気ビルディング5階大ホールで、富山県高等学校PTA連合会定期総会終了後に開催されました。

石坂兼人理事長の挨拶に続き、来賓を代表して富山県教育委員会生涯学習・文化財室の菊池政則室長より祝辞を賜りました。



総会では、平成29年度事業報告、平成30年度事業計画・収支予算書について報告がありました。その後、平成29年度決算（貸借対照表・正味財産増減計算書）について協議し、原案どおり承認されました。

また、石坂理事長をはじめ4名の理事と2名の監事から辞任届が提出されたことを受け、新たな理事と監事を選任し、承認されました。任期は前任理事・監事の残余任期（2019年度定時社員総会まで）となります。

総会後の理事会において、代表理事（理事長）に山崎均理事が選定されました。

第8回全国高等学校安全互助会連絡協議会総会及び研究大会（静岡大会）

平成30年10月4日・5日に静岡県富士市アパホテル富士中央において、第8回全国高等学校等安全互助会連絡協議会総会及び研究大会が開催されました。

本大会は、高校生等への共済事業を行っている団体相互の連携を深めるとともに、それぞれの活動の質的向上を目指して研究協議を行う大会であり、北海道から沖縄県まで16団体、60名余が参加しました。

開会行事、総会に引き続き、研究協議が行われました。研究協議では、はじめに「PTA共済法における決算のチェックポイント」と題して かがやき監査法人 公認会計士 林 克則 氏の講義があり、PTA共済法、決算の特徴等についてお話いただきました。次に、各団体が日頃抱えている諸課題等について3分科会に分かれて活発な意見交換が行われました。また、分科会報告の後、文部科学省生涯学習政策局 社会教育課 PTA等共済指導係長 吉谷 正 氏より指導助言・講評をいただき、充実した研究大会となりました。

次年度は2019年10月3日・4日に北海道札幌市で開催されます。

平成29年度負傷共済金請求事例について

平成29年度負傷共済金請求のあった492件のうち、初回請求299件について、主に平成28年度と比較します。

平成29年度は、前年度より総件数で121件、初回請求件数で78件減少しています。

活動別発生状況（図1）では、部活動中が、最も多く236件（78.9%）で、前年度より件数は減少していますが、割合はほぼ同じとなっています。部活動では、野球部、サッカー部、バスケットボール部が、前年度同様、発生割合が高くなっており、この3つの部で部活動全体の約44.5%を占めています。活動別で次に多いのが授業中29件（9.7%）で、そのほとんどが体育の授業中です。

部位別発生状況（図2）では、最も損傷の多い部位が「膝」の負傷で71件（23.7%）となっており、前年度とほぼ同じ件数ですが、割合は、4ポイント増加しています。続いて「手・手指、手関節」45件（15.1%）で前年度より2.6%増加しています。そして、その次が「足・足指、足関節」42件（14.0%）で、この3つの部位による件数は、全体の52.8%を占めています。具体的な内容としては、前年度に引き続き骨折、靭帯損傷が多くなっています。

全体を通じて、活動別、部位別割合はあまり変わらないのですが、件数が大きく減少しており、学校生活のいろいろな場で、安全・安心に留意されていることがうかがえます。

今後も、より安全・安心に諸活動が行われますよう、一層の配慮をお願いします。

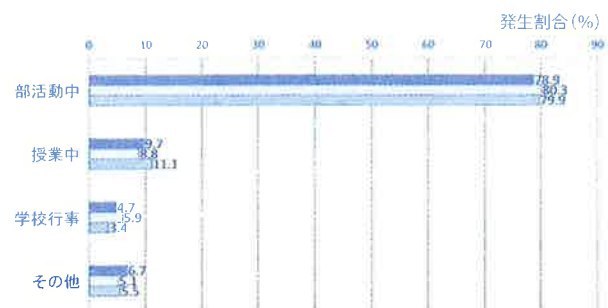


図1 活動別発生状況

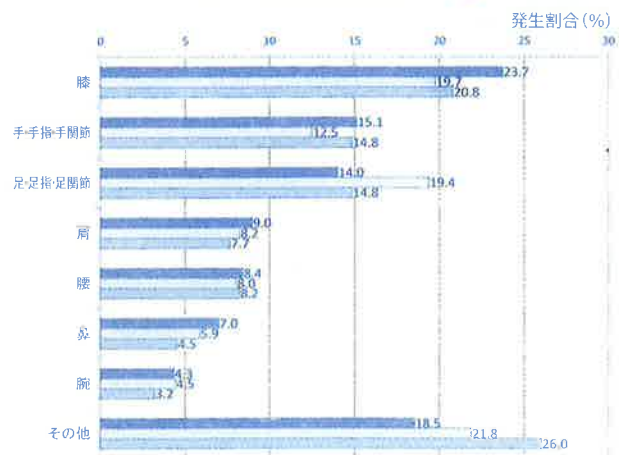


図2 部位別発生状況

助成事業報告

富山高等学校「生徒支援プログラム」

— 信頼と安心を築くコミュニケーション活動 —

富山高等学校では、「健康教育及び健全育成等に関する実践活動」の取り組みとして、生徒支援プログラム「信頼と安心を築くコミュニケーション活動～心身共に健康な学校生活を送るために～」を1,2年生に対して実施しました。

このプログラムはS.E.L (Social and Emotional Learning) 『感情面と社会性を育む学び』に主眼点を置きながら、様々なコミュニケーションの活動を通して生徒各自の関係に関する気づきを高め、相互理解に関心を抱き、良好な関係性を築くための支援を行うものです。

1 取り組み内容

6月15日(金) 玉川大学教授・TAPセンター長である難波克己先生を講師にお迎えし、体育館にてプログラムを実施しました。



● 1年生 (6・7限100分)

本時の目標や約束を確認し、準備活動を通して和やかな雰囲気を作りだした後、みんなで協力をしなければ達成できない課題(クラス全員がつま先を付けて輪を作り一斉に立ち上がるなど)に取り組みました。トライアル&エラーを繰り返して学びを獲得し、グループで課題を達成することで、仲間への信頼、絆が生まれ、友達との関係が安心できる協力的な環境にあることを確認できました。

● 2年生 (3・4限100分)

相互の関係性を確認する準備活動から始め、個人とグループの関わりを強め、問題発見や解決を促すコミュニケーションアクティビティ(決められた回数で全員が別の場所に移動する方法を考えるなど)を行いました。また、自分たちが望む学級環境について可視化して確認する活動を行いました。

2 生徒の感想

● 1年生

この活動を通して他者を尊重し合うことが大切であることを改めて感じました。クラス全員で一斉に立ち上がることが出来た瞬間、大きな達成感を感じました。集団が一つの目標に向かって団結することは、素晴らしいと思いました。

今回の活動で僕が感じたことは、自分を見つめ直すということです。正直、今でも自分に少ししか自信は持てませんが、勇気を出して新しいことに挑戦することで何かの可能性を見つけることができると思ったので、これからは失敗を恐れずにいろいろな事に挑戦していきたいです。



● 2年生

- 友達と話しあいながら問題解決をすることで自分が考えつかなかった案が出て面白く感じました。ボールを速く渡すゲームでは、みんなで意見を出し合い少しずつタイムを短くできたことが特に楽しかったです。
- 自分の頭で考える思考の重要性を再認識しました。
- 今日の活動で自分に必要なことを確認することができました。今自分がすべきことを考えて実行していきたいです。

3 実施を通して

事前・事後のアンケートを比較すると、『自分には人とコミュニケーションをする力がある』と答えた生徒が47%から57%へ、『悩み事を友だちに相談しようと思う』と答えた生徒が70%から80%にそれぞれ増加しました。また、『まわりの人を理解したいと思う』生徒が88%から91%へとわずかですが増加しました。

一度の体験で「自己認識・自己理解」、「他者理解」、「ライフスキル」等に関する多様な学びを得ることは難しいですが、プログラムを通して体験したコミュニケーションの手法を活用し、心身共に健康な学校生活につなげていきたいと考えています。

平成29年度事業・収支決算報告

《事業》

- 1 社員総会 定時総会；平成29年6月1日
- 2 会 議 理事会 6回開催
- 3 調査研究事業 平成29年5月8日、6月1日（第2回・第3回）、8月17日 平成30年1月25日、3月16日
第7回全国高等学校等安全互助会連絡協議会総会及び研究大会埼玉大会（平成29年10月5日・6日）
PTA等共済法務担当者会議（平成29年6月2日、平成30年2月2日）
全国高等学校等安全互助会連絡協議会研修会（平成29年11月22日）
- 4 安全普及事業 (1)機器の整備 A E D（65台）の定期点検及びパッド・バッテリー交換（平成29年8月）
(2)広報事業 安全振興会会報・手引書の発行及び加入案内の配布、ホームページの随時更新
- 5 助成事業 生徒の安全・健康及び健全育成等に関わる実践活動への助成（22団体）
- 6 給付事業 共済金支払件数497件（負傷；492件、後遺障害；2件、義歯；3件）
- 7 香料給付事業 4件

【収支決算】

1 収入の部 (単位：円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	29,607,876	295,471	4,000,095	33,903,442
基本財産運用収入	0	0	0	0
特定資産運用収入	29,033	0	20	29,053
受入共済掛金	29,578,600	0	0	29,578,600
受入香料掛金		295,470	0	295,470
雑収入	243	1	4,000,075	4,000,319
投資活動	0	0	0	0
基本財産取崩	0	0	0	0
特定資産取崩	0	0	0	0
支払備金取崩	0	0	0	0
前期繰越収支差額	2,913,834	▲9,114	14,304,789	17,209,509
計	32,521,710	286,357	18,304,884	51,112,951

2 支出の部 (単位：円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	29,066,863	228,411	4,972,986	34,268,260
事業費	29,066,863	228,411	0	29,295,274
管理費	0	0	4,972,986	4,972,986
繰入金	0	0	0	0
投資活動	4,025,271	0	0	4,025,271
基本財産取得	0	0	0	0
特定資産取得	4,025,271	0	0	4,025,271
固定資産取得	0	0	0	0
支払備金積立	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0
次期繰越収支差額	▲570,424	57,946	13,331,898	12,819,420
計	32,521,710	286,357	18,304,884	51,112,951

平成30年度事業・収支予算計画

《事業》

- 1 社員総会 定時総会；平成30年6月5日
- 2 会 議 理事会 4回開催
- 3 調査研究事業 平成30年5月7日、6月5日（第2回、第3回）、平成31年1月24日
第8回全国高等学校安全互助会連絡協議会総会及び研究大会静岡大会への参加
（平成30年10月4日・5日）
PTA等共済法務担当者会議等への参加
- 4 安全普及事業 (1)機器の整備 A E D（65台）の定期点検（平成30年8月・9月）
(2)広報事業 安全振興会会報・手引書の発行及び加入案内の配布、ホームページの随時更新
- 5 助成事業 生徒の安全・健康及び健全育成等に関わる実践活動への助成
- 6 給付事業 共済金給付

【収支予算】

1 収入の部 (単位：円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	28,749,150	286,150	4,001,000	33,036,300
基本財産運用収入	0	0	0	0
特定資産運用収入	30,000	0	0	30,000
受入共済掛金	28,717,150	0	0	28,717,150
受入香料掛金		286,050	0	286,050
雑収入	2,000	100	4,001,000	4,003,100
繰入金	0	0	0	0
投資活動	15,000,000	0	0	15,000,000
基本財産取崩	0	0	0	0
特定資産取崩	0	0	0	0
支払備金取崩	15,000,000	0	0	15,000,000
前期繰越収支差額	▲363,197	24,239	13,158,378	12,819,420
計	43,385,953	310,389	17,159,378	60,855,720

2 支出の部 (単位：円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	28,648,749	284,251	6,148,000	35,081,000
事業費	28,648,749	284,251	0	28,933,000
管理費	0	0	6,148,000	6,148,000
繰入金	0	0	0	0
投資活動	18,000,000	0	0	18,000,000
基本財産取得	0	0	0	0
特定資産取得	3,000,000	0	0	3,000,000
固定資産取得	0	0	0	0
支払備金積立	15,000,000	0	0	15,000,000
予備費	100,000	0	0	100,000
次期繰越収支差額	▲3,362,796	26,138	11,011,378	7,674,720
計	43,385,953	310,389	17,159,378	60,855,720

《役員》

平成29・30年度理事・監事

○理事（9名）

山崎 均（理事長） 広井 睦（常務理事）
荒瀬 義雄 石村 雅俊 岩田 秀昭 深松 茂
島 史郎 山本 英介 柴田 正信

○監事（2名）

御 団 伸太郎 海老 忠 大

平成30・31年度審査委員会委員（9名）

佐藤 久美 上 肥 しのぶ 梨谷 真嗣 福島 英晴
金田 秀樹 品川 俊男 立浪 真美 菊池 政則
藤 継 太郎

編集後記

公益法人として5年目を迎えています。11月には立入検査がありました。また、文部科学省や全国安全互助会の研修会に参加し、改めて職責の重さを痛感しています。

県内の県立学校、私立高校の子どもたちの安全・安心、健康、健全育成のため、今後も精進してまいります。

当法人へのさらなるご理解・ご協力をお願いいたします。

（常務理事・事務局長 広井 睦）